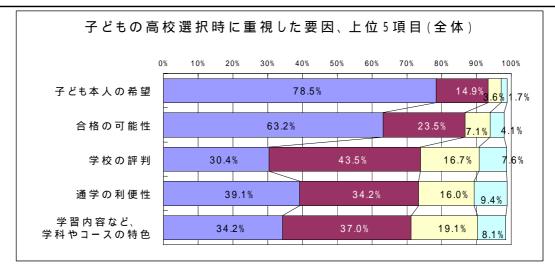
高校入試に関すること

子どもの高校選択時に重視した要因

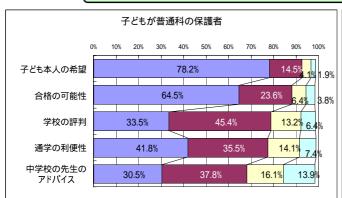
90%以上の保護者が「子ども本人の希望」を重視。

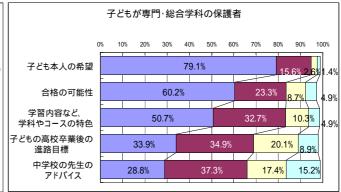
子どもが専門・総合学科、特色選抜合格者の保護者は、「学習内容など、学科やコースの特色」を重視する傾向にあるが、普通科、一般選抜合格者の保護者は、「学校の評判」を重視する傾向。 この傾向は、生徒と同様。

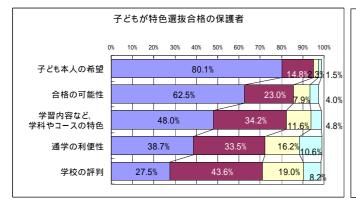
重視した どちらかといえば重視した どちらかといえば重視しなかった 重視しなかった

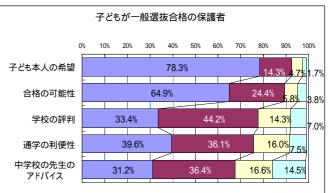


子どもの学科、選抜検査合格者別の高校選択時に重視した要因、上位5項目



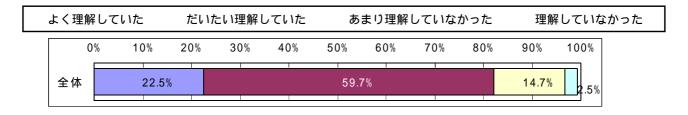






子どもの高校受検時における、高校の特色についての理解度

82.2%の保護者が、高校の特色について理解していたと回答。



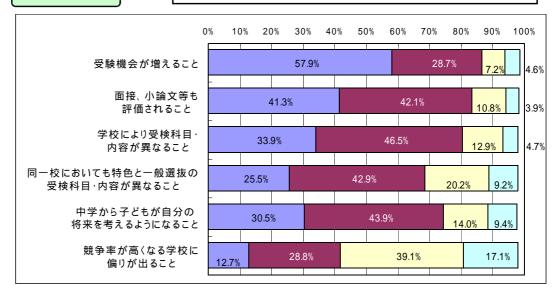
特色選抜に関する評価

特色選抜に関し、受検機会の複数化・選抜方法や選抜資料の多様化・選抜尺度の多元化などの 入試改革は、概ね評価されている。このことは、保護者の方が生徒よりも高く評価している。 特に、保護者86.6%、生徒85.1%と、「受検機会が増えること」を一番高く評価。

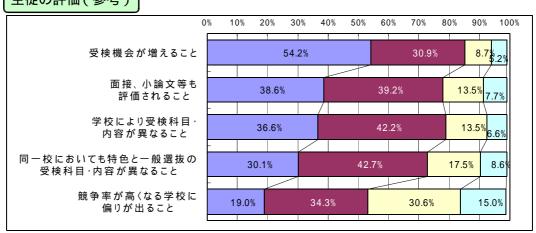
「競争率が高くなる学校に偏りが出ること」は、生徒の53.3%がよいと評価しているのに対して、保護者は41.5%と評価は低い。

保護者の評価

よいと思う どちらかといえばよい どちらかといえばよいと思わない よいとは思わない



生徒の評価(参考)



学校運営及び先生に関すること

学校での教育活動の満足度・重要度

の社会参加活動の機会

学校においては、生徒同士や先生との人間関係が非常に重要と回答。また、「進路希望に応じた 学習」や「学校の教育目標などの情報提供」なども重要性が高いと回答。

すべての項目に対し、80%以上の保護者が重要と考えている。

特に、重要度が高く満足度の低い「個々の理解度に応じた学習」や「いろいろな技能や資格の 取得機会」、「将来の生き方や進路について考える学習」は、保護者からのニーズが高い教育活動 である。

重要 とても重要 とても満足 あまり重要とは思わない あまり満足していない 重要とは思わない 満足していない 重要度(全体) 満足度(全体) 20% 60% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100% 学校の教育目標や進路状況など 52.9% 41.3% 14.9% 22.5% 57.5% の情報提供 0.7% 3.3% 学校行事などに関する情報提供 20.4% 13.7% 63.3% 12.09 64.6% 0.8% 2.6% 44.7% 授業の進め方 8.7 64.1% 21.3% 0.8% 35% 8.1% 施設や設備などの教育環境 32.4% 56.2% 12.09 51.5% 26.0% 12% 先生との人間関係 64.4% 31.6% 21.6% 16.3% 0.5% 4.7% 生徒同士の人間関係 62.7% 25.2% 58.8% 0.5% 2.2% 興味・関心に応じた学習 40.4% 51.1% 1259 57.7% 23.8% 0.6% 3.6% 進路希望に応じた学習 43.5% 50.8% 12.49 54.7% ∩8% 56% 個々の理解度に応じた学習 45.6% 46.2% 7.9 50.3% 33.3% 0.6% 6.2% 11.6% 大学や研究機関・企業など、 10.3 30.0% 543% 10.4% 2.1% 外部の人の特別授業 6.8 学校(学科・コース)の 37.5% 52.9% 18.0% 22.5% 51.7% 0.7% 51% 特色を生かした取組 コンピュータやインターネット 29.3% 55.2% 8.0 49.5% 32.7% を活用した学習 7.2% 1.4% 将来の生き方や進路について 45.0% 10.0 49.4% 32.0% 考える学習 06% 59% 5.0 社会の決まりやルール、マナー 45.7% 46.8% 1309 54 1% 25.4% 0.8% 50% について考える学習 10.5 他者や自分の人権、異文化に 29.7% 57.4% 8.1 30.0% ついて考える学習 0.8% 48% 8.9% いろいろな技能や 13.69 39.8% 36.0% 41.3% 47 0% 7.8% 1.0% 資格の取得の機会 132% 学校行事や生徒会活動 10.2 19.2% 64.7% 64 1% 19.4% 3.4% 1.2% 部活動 14.4% 28.7% 52.3% 21.0% 45.4% 26% an% 12.2% ボランティア活動や清掃活動等 11.0 28.1% 25.0% 52.3% 58.9%

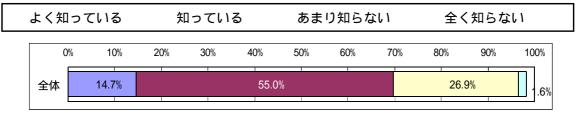
2.3%

6.1%

子育てに関すること

現時点での子どもの友人や友人関係の理解度

約70%の保護者が、子どもの友人や友人関係のことを理解している。



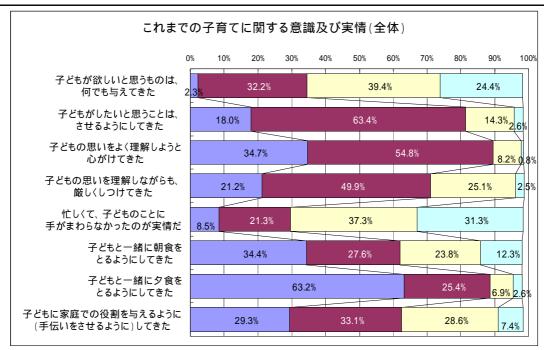
これまでの子育てに関する意識及び実情

これまでの子育てを振り返り、「子どもの思いをよく理解しようと心がけてきた」と回答した保護者は89.5%。

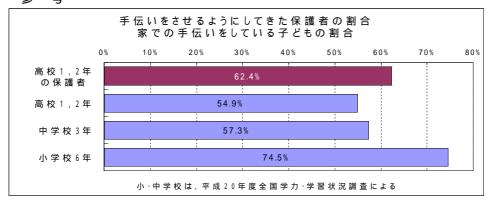
「子どもの思いを理解しながらも厳しくしつけてきた」と71.1%、「忙しくて子どものことに手がまわらなかったのが実情だ」と29.8%の保護者が回答。

「子どもに家庭での役割を与えるように(手伝いをさせるように)してきた」保護者は62.4%。なお、「手伝いをしている」と回答したのは、小学生74.5%、中学生57.3%、高校生54.9%。

そう思う どちらかといえばそう思う どちらかといえばそう思わない そう思わない



参考



子どものことに関する保護者の心配事

子どものことに関し、「進路に関すること」を心配している保護者が、88.4%ともっとも多い。 「健康に関すること」、「教育費など経済的なこと」を心配している保護者は、65.8%、62.9 %で、割合が高い。

心配している どちらかといえば心配 どちらかといえば心配していない 心配していない

